

## 抵抗性品種等緊急対策事業（拡充）

【平成21年度予算額 48,217（48,217）千円】

### 事業のポイント

- ・近年マツクイムシ被害が進行している関東以北で有効なマツノザイセンチュウ抵抗性品種を開発し普及します。
- ・社会問題化しているスギ花粉症対策として、無花粉スギ等を組織培養により増殖し普及します。

- ・マツノザイセンチュウ抵抗性品種の平成19年度末までの開発数は、クロマツ92品種、アカマツ170品種。
- ・上記のうち、関東以北の気象条件に適した品種数は、クロマツ15品種、アカマツ78品種で他の地域に比べて少ない。
- ・独立行政法人森林総合研究所林木育種センターが、平成19年度末までに無花粉スギ2品種を開発。
- ・無花粉スギの苗木等の都県への供給は、原種園が未整備であることから、現在のところ年間200本程度が限界であり、原種園を整備せずに飛躍的な供給量の増大が可能となる組織培養の推進が不可欠。

### 政策目標

関東以北の日本海側の気象条件に適したクロマツの開発・普及  
組織培養による無花粉スギ等苗木の供給量の飛躍的増大

#### < 内容 >

##### 1. マツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発・普及

関東以北におけるマツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発を行うとともに、それらの増殖を行い、都道府県に対しその苗木を供給します。

##### 2. 組織培養を用いた無花粉スギ等の増殖・普及の実用化

組織培養により、従来の増殖法と比較して著しく短い期間で無花粉スギ等の大量増殖及び増殖苗の順化等を行い、都道府県に対し無花粉スギ等の苗木を供給します。さらに、平成21年度からは、より効率的に無花粉スギの増殖を行うため、組織培養システムを改良することとし、無菌苗の育成工程等を追加します。

#### < 委託先 >

民間団体

#### < 事業実施期間 >

平成18年度～22年度（5年間）

[ 担当課：林野庁研究・保全課 ]